広報かじき

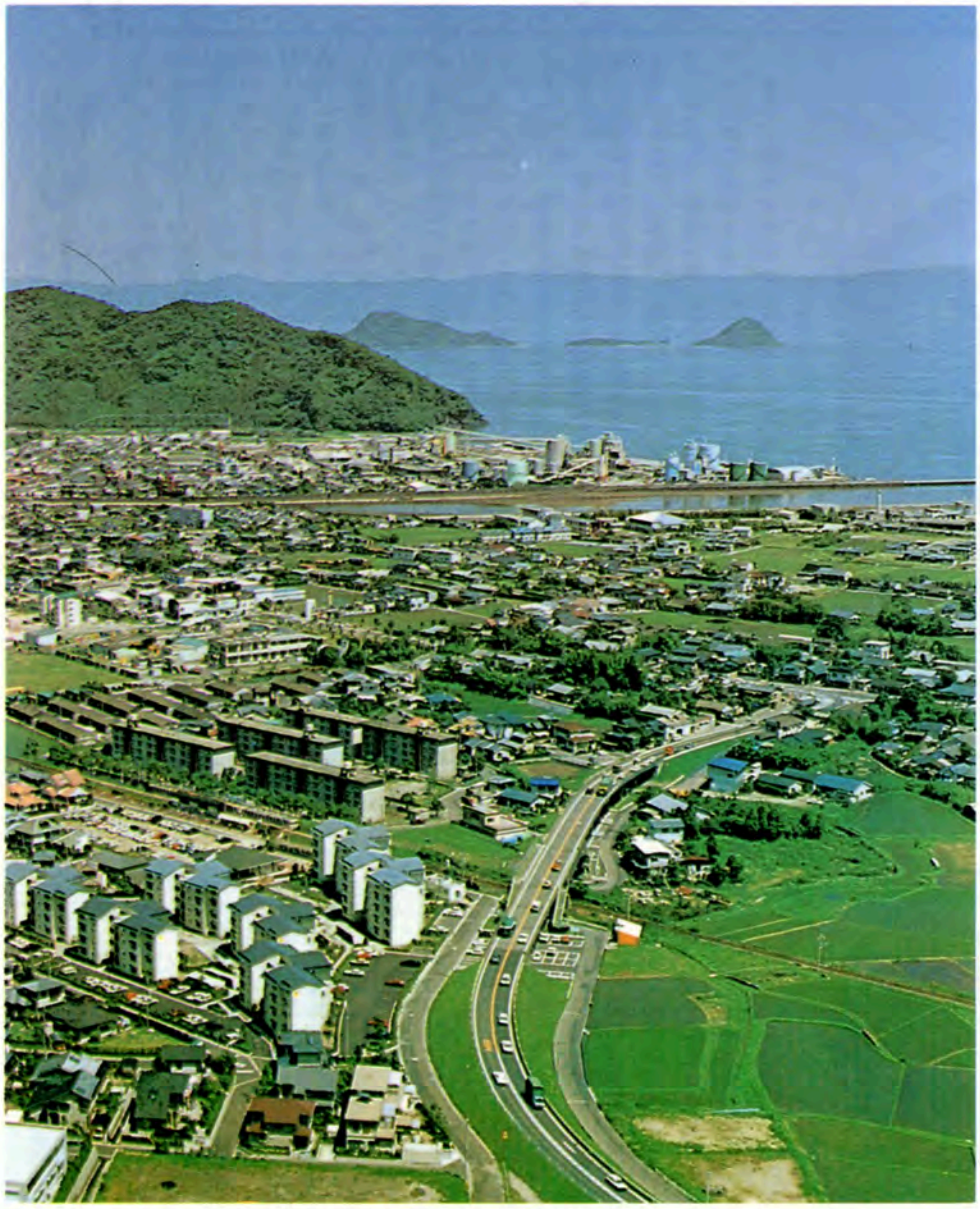
題字　宇都宮町長

人口・世帯の動き

（平成2年6月1日現在）

総人口23,845人（－1）	出生　29人
男　11,219人（－1）	死亡　14人
女　12,626人（±0）	転入　117人
世帯数 8,364　（＋8）	転出　133人

●（　）内は前月との比較●



五老峰からの展望はすばらしい

五老峰より望む

沈む夕陽が山の端を染める火灯しごろの五老峰――。

歌人与謝野晶子が加治木を訪れた時、この五老峰を

加治木なる
五つの峰の　波形の
女めくこそ
あはれなりけり

と詠んでいる。

往時の美しい景観が、目を閉じると瞼（まぶた）に浮かんでくる。

この五老峰の最南端にある峰が湯湾岳で、昭和二十三年から砕石され、露出した赤銅色の岩肌や、削り取られた山波が見るにつけ痛ましい。

しかし、ここからの眺めは素晴らしく、眼下に見下ろすまちは、鮮明に描き出された絵画のようである。

平成2年

7月号

今月のページ

☆椋鳩十文学記念館開館式…2ページ　☆クモ合戦…3ページ　☆議会報告・衛生協会ミニ通信…4ページ　☆ふるさとは遠きにありて思うもの…5ページ　☆まちの話題…6…7ページ　☆カメラルポ…8ページ　☆文芸・在宅医…9ページ　☆おしらせ…10ページ

●No.429　発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62―2111●

椋鳩十文学記念館開館式６月16日

椋鳩十先生にあらためて感動

町が、児童文学作家・故椋鳩十先生の遺徳をしのび〝加治木町を児童文学の拠点に〟と進めていた『椋鳩十文学記念館』が完成し六月十六日、四百人余りが参加して盛大に開館式が行われました。

開館式には、椋先生の夫人（久保田みと子さん）ら御遺族をはじめ、衆議院副議長の村山喜一氏、衆議院議員の小里貞利氏など、各界から、生前の椋先生を御存知のかたがたが町、県外を問わず数多く出席され、遠くは椋先生の生誕の地、長野県の喬木村からも下岡教育長ほか二人がお祝いに駆けつけてくださり、椋鳩十先生の人徳にあらためて感動させられました。

また、開館セレモニーとして、宇都宮町長、久保田みと子さん、村山喜一衆議院副議長、山崎昭町議会議長、榎薗高雄館長、隼人町長、溝口宏二県議会議員、県教育委員会文化課長ら八人によるテープカットが行われ、記念館の完成を祝いました。

式典は、加治木小学校の体育館に移して開催され、宇都宮町長が「この記念館を椋先生の提唱された〝母と子の二十分間読書運動〟を継承してゆく場として、また、二十一世紀を担う子供たちの、すばらしい夢と感動を育む場にしたいと思います」とあいさつを述べました。

また、来賓祝辞の後、加治木小学校・六年生の白石聡子さんが、喜びのことばとして「本の大事さは分かりますが、いままで読んでいませんでした。しかし、椋先生の本を読んであらためて本のすばらしさに感動するとともに、先生の偉大さに感激しました」とあいさつ。続いて、四年生の坂元亮太くん、吉井智子さんの二人による椋先生の詩の朗読があり、子供らしい語りかけるような二人の朗読に、会場のみなさんは熱心に聞き入っていました。

アトラクションでは、世界でも有名な声楽家の、池端ミチ子さんのすばらしい歌声が披露され、開館式典に花を添えました。

テープカットが華やかに

「ほーすばらしいですね」

開放期間中の入場者

六月十七日　一、四七八人
十八日　四八四人
十九日　五九二人
合　計　二、五五四人

この三日間で、町民の約一割の方が観覧されたことになります。

▽展示室内に飾られた椋鳩十先生の写真が、訪れたかたがたを歓迎するように微笑んでいました。

椋先生の笑顔

開館式典

「それ！食れつけ」

熱狂する人、クモ・・・・

全国に知られるようになった、黄金グモによる加治木名物『クモ合戦』が六月十七日、福祉センターで開催され、二千人余りの観客で賑わいました。

この日は、県内外から集まった二百三十匹余りの黄金グモが、熱戦を展開し、町外から訪れた観客らに珍しい『クモ合戦』を披露してくれました。

また、報道関係者も多く、テレビやカメラのフラッシュが幾条にも閃光して、正しく全国唯一の熱い（？）クモ合戦でした。

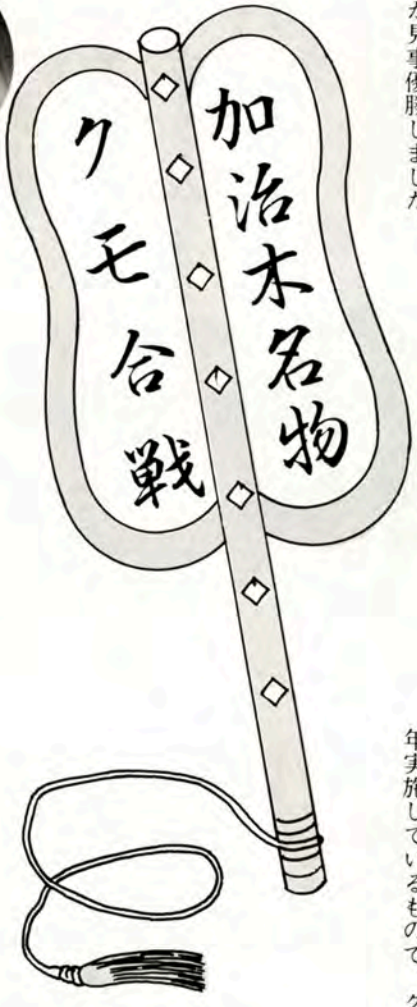
合戦は、スタイルや色つやを競う優良グモの審査の後、一本の横棒の先端に控える〝かまえ〟のクモに突きかかる〝しかけ〟のクモを、行事さんが仕切りをして戦わせる合戦の部と王将戦の部が繰り広げられました。

また、町内小学校対抗戦も行われ、両親や仲良しの仲間らと参加した子供たちは、自分たちのクモの戦いに一喜一憂。対抗戦は加治木小学校が見事優勝しました。

優良グモは、こっちじゃっどなあー

6月17日（日）

さあ、見合って



私が黄金グモです

強者（つわもの）どもの戦績

17日

■優良グモの部
優勝……谷口　学（水俣市）
二位……石原　直（蒲生町）
三位……谷口妙子（水俣市）

■合戦の部
〔大人の部〕
優勝……谷口妙子（水俣市）
二位……徳田幸雄（吹上町）
三位……谷口　学（水俣市）
〔小人の部〕
優勝……水谷　誠（加治木小）
二位……久保田光（鹿児島市）
三位……立和田真紀（錦江小）

■王将戦の部
〔大人の部〕
優勝……谷口信彦（水俣市）
二位……谷口信彦（水俣市）
〔小人の部〕
優勝……深谷祐一（加治木町）
二位……吉村浩太郎（柁城小）

かわいい袴（はかま）姿の行事さん

加治木小学校でクモ合戦

郷土に伝わる「クモ合戦」を体験しながら、クモの生態などを学習しようと、加治木小学校の五・六年生二百四人が六月二十三日、第五回『校内クモ合戦大会』を開催しました。

これは、町観光協会クモ合戦実行委員会の協力を得て開校以来毎年実施しているもので、クモは本番の「町クモ合戦」の生き残りをもらったり、児童たちが家のまわりで見つけて教室で飼っていたものです。

この日は、クモ合戦の由来やOHPを使ってクモの生態などを学習した後、クモ合戦実行委員会の立山経弘部長らの指導で、自分たちの手作りによる袴姿に扮したかわいい行事さんが、それぞれのクラスに登場し手付きあざやかにクラスチャンピオンを決定。見守る児童らは一戦毎に「ウワー、勝った、勝った」と黄色い歓声を張り上げて自分たちのクラスを応援、つづいてチャンピオングモ同士による〝合戦〟が行われ、五年一組が見事優勝に輝きました。

行事は私にまかせて

議会報告「第二回定例会」

龍口線ほか道路舗装費など
五千五十五万五千円を追加

第二回町議会定例会は、六月二十二日から七月三日までの十二日間の会期で開催され、一般会計補正予算や、「町はり、きゅう施術費補助金支給条例の一部を改正する条例制定の件」など九つの議案や三件の陳情を可決し意見案一件を採択しました。

一般会計補正予算は、龍口線ほか五路線の道路舗装に伴う工事請負費など歳入歳出それぞれに、五千五十五万五千円を追加するもので、総額は四十七億四千五十五万五千円となりました。

マッサージ・指圧など……はり・きゅう券で
▽……港町公園も完成……△

町議会定例会では、五つの条例改正議案を可決しました。

主なものを紹介しますと、

「町はり、きゅう施術費補助金支給条例の一部を改正する条例制定の件」では、六十五歳以上の老人に支給されるはり、きゅう施術券（使用は町内だけに限る）で、七月からあんま、マッサージ、指圧などもできるようになりましたので、どうぞ御利用ください。

また、「町都市公園条例の一部を改正する条例制定の件」では、新しく出来た港町公国が、町の都市公園に加えられました。

この港町公園は、子供の遊び場として造られた児童公園で、遊び用具がいろいろあって子供たちには人気があります。みなさんも夕方の散策などお楽しみください。

芝生のきれいな港町公園

ゴミ対策と
住みよい地域づくり

町衛生協会では、〝ゴミ対策と住みよい地域づくり〟を町内全域に波及させるため、岩原西自治会をモデル地域に指定して、また、町民一人ひとりがゴミ問題に関心を寄せ、正しいゴミの出し方と処理についてのマナーを身につけ、ゴミのない美しい住みよい町にするため次の目標を定めました。

この実践目標を守っていただいて、皆さんと共に努力してゆきたいと思います。御協力ください。

ゴミの山が……

《実践目標》

一、環境衛生美化活動
①ゴミは定められた日の朝に出しましょう。
②燃えるゴミと燃えないゴミの袋を分別して出しましょう。
③自分の家のまわりは、いつもきれいにしておきましょう。

二、ゴミの持ち帰り運動
①会合、レクリエーションなどのゴミは、各自持ち帰りましょう。
②外出時は必ずゴミ袋を持参しましょう。
③空缶は近くのカン太郎へ。

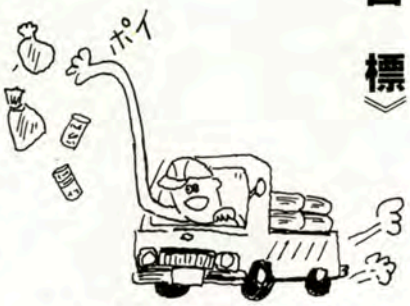
三、水切り、重量の減量運動
①生ゴミは出す前にギューッともう一度しぼり、水切りしましょう。
②処理できるゴミは、各家庭で処理しましょう。

四、クリーンステーション（ゴミ収集場所）の点検、パトロールの実施
①ゴミ袋の口はしっかりしぼって、指定の場所に整とんして出しましょう。
②指定の時間以外は、絶対に出さないようにしましょう。
③ステーションは、いつもきれいにゴミの積み残しのないようにしましょう。

五、指定地域外不法投棄の禁止
①清掃する人の身になり、指定地域以外は出さないようにしましょう。
②通勤途上の車中からの投げ捨てはやめましょう。
③早朝パトロールの実施、不法投棄者の摘発と指導

六、ゴミ処理研修会や映写会などの実施
①ゴミ処理についての映写会、スライドの実施
②ゴミ処理施設の見学と研修会

※研修会や施設見学などの要望がありましたら、町保健衛生課へ御連絡ください。



車中から投げないで

ふるさとは遠きにありて思うもの

東京にお住いの丸野勲さんから寄稿されたものを掲載いたしました。ありがとうございました。

帰省

文・丸野 勲さん

五月の連休に郷里に帰ってきた。帰省といっても思いたてば、東京から二時間もすれば家に着く便利な世の中。帰ろうにも帰れなかった時代と違って、帰省すること自体には余り感激は無くなってきた。それでもやっぱり郷里というものはよいものだ。最近は年齢の故もあろうか、山や川のたたずまいを眺めたり、子供の頃を思い出しながら歩き廻ることが多くなった。

偶には精矛神社にも参拝しようとぶらりと出かけた。途中、田の神様と日木山塔を見る。説明板等もよく整備されていて分かりやすかった。ふと、近くに楠森司君の墓があったのを思い出し、ついでに墓参りしていくことにする。

墓地に入ると宇都宮研一（二年上）宇都宮對馬（青雲舎の後輩）の墓に出会い驚く。對馬は五十七歳で死んでいた。墓と向き合っているとその人に出会ったようで妙に懐かしくもある。刻まれた年月など読んでは〝一人でそうだったのか〟と納得する。

司君の墓は、一人墓だったのが集められて「楠森家の墓」になっていた。元の墓は荒れ果てて、彼の墓石が、ぽつんと捨てられたように半ば土に埋もれていた。

彼は、昭和十七年に甲種飛行予科練習生として海軍に入り、十九年に木更津から出撃して戦死した。墓石の裏には父親の作ででもあろうか歌が刻まれていた。

大空は　いとしき吾子の
かたみかも
日毎仰ぎて　まぼろしを追う

子供の死を諦め切れない親の悲しみがある。

彼は面白い男だった。彼のいるところ何とも言えない楽しい雰囲気があり、常に笑いが渦巻いていた。勉強嫌いの遊び好き同士でよく一緒に遊び歩いたものだ。彼が海軍に入ってしまったので、ようやく自分の勉強に実が入るようになったくらいだ。

あの頃は大変な時代だった。戦争の真っ最中で若者達は皆戦場へ狩り出されていった。そして、多くの者が帰ってこなかった。特に武の国薩摩では軍人になることが既に名誉だった時代である。

五十年が経った。同じ時代に同じように戦場への道を進んだのに今生きて墓前にある。何を語りかけたらよいというのだろう。

精矛神社の階段を登る。小学生の頃は毎年ここの境内で部落の花見があった。当時は、花見と運動会が家族団欒の日であった。日頃厳格で笑い顔を見せることの少なかった親父もこの日ばかりは頬が緩み、江戸金の小母さんの三味線に合わせて目玉をくるくる回す奇妙な「目玉踊り」や唇を指で弾いてペンペンと音を出す薩摩琵琶の物真似などやってみせたものだった。

中学生の頃には、ここで陣羽織や鎧兜に身を固め、義弘公関が原合戦の偉功をしのんで「明くれど閉ざす雲暗く――」と蛮声を張り上げ妙円寺詣りに出発していったのを思い出す。

境内の芝生のあったところがゲートボールのコートになっていて老婆と言っては失礼だが、御婦人が三人で決戦中であった。右手奥には射撃場があったが行ってみると、今は人家が建ち並びすっかり様がわりしていた。

神社の社はどれも大分古びて傷んでいるように見えた。戦後神社はすっかり見放されてしまった。確かに神道を国民精神の作興に利用したのはわるかったかもしれないが、神社は、日本の歴史であり文化である。

日本の神社の祭神は、神代を除けば殉国者か偉人・賢人であり天皇を祭ったものではない。天皇にあるのは御陵だけであり、宗教とは縁遠いものなのだ。

大きな気持ちで大事にしたいものだと思いながら帰路につく。

蔵王嶽の下は自動車道の建設で山が切り開かれていた。西の方湯湾岳の姿が何とも痛々しかった。しかし、町づくりのためには、却って無い方がひろびろとしていい町になるようでもある。

だが、そんな変わった故郷のたたずまいを見ることは、恐らく自分の時代にはあるまい。

▽丸野勲さんのプロフィール
加治木町本町出身。現在、東京に在住。（六十四歳）
職業は、財団法人自衛隊援護協会常務理事。

おもかげを残す精矛神社

☆広報マンから……お願い

『広報かじき』にもっと親しんでもらうため、〝読者のみなさんの欄〟を設けたいと思います。

この欄の構成について、みなさんの御要望、御意見などがありましたら総務課文書係まで、お便りください。

また、みなさんからの寄稿文なども募集しますので、どしどし御応募ください。

※ただし、採用、編集などに当たっては、文書係で検討しますので御了承ください。

TOWN NEWS ●まちの話題

町の史跡をきれいにしよう

かじっがらす会らが 島津家の『亀墓』を清掃

「町の史跡をきれいにしよう」と六月十日、〝かじっがらす会〟が、木田新中にある島津二十四代重年公の都美夫人をまつった『亀墓』を清掃しました。

これは、かじっがらす会（会員十五人）が、町文化財保護協力会と提唱して募ったボランティア四十人余りで行ったもので、亀墓や卒塔婆のまわりを草刈り機や鎌などできれいに清掃した後、堂森忠夫会長は、「気持ちのいい汗をかきました。これでこの亀さんも元気に泳ぐでしょう」と、笑いながら話していました。

このかじっがらす会は、〝町おこしに役立てよう〟と組織されたボランティア団体で、再生品の加工販売やチャリティバザーを開催して、益金を町や社会福祉協議会に寄付するなど活躍しています。

都美夫人の『亀墓』

気持ちのいい汗をかきました

『うわー、ぬるぬるする』

柁城小の六年生が 田植えを体験学習

〝自分たちの手で稲作りを体験しよう〟と柁城小学校の六年生の一・二組（児童七十九人）が、梅雨の合間をぬって久しぶりの晴天に恵まれた六月二十一日、学校近くの田んぼで田植えをしました。

この日は、加治木町農協が借りている田んぼの半分約五アールに、農協の技術職員の福留伸一さんと坂元康孝さんの二人の指導のもと、二十人ずつが交替で〝手植え〟で苗を植えていきました。

子供たちは、田植えの経験がなく、田んぼに裸足で〝そろり〟と入ると「うわー、ぬるぬるする。冷たくて気持ちがいいなあ」と大はしゃぎ。福留さんや先生の張り上げる大声も届きません。また、交替した元気いっぱいの男子たちは、将来のため田んぼに馴染もうとする余りか、ついに田んぼに入って〝泥合戦〟。しかし、中には上手に植えていく子供もいて田植えも無事終わりました。

森園盛義校長は「子供たちは、だんだんと成長する稲を見るのが楽しみでしょう。十月には手刈りで取り入れて米の尊さ、農業の大切さを感じさせたいと思います」と話していました。

うまく植えられたかな

田んぼになじめたかな…

「木田の苗は良か苗じゃ」

お田植え祭用の早苗取りが

ベテランの3人のかた

鹿児島神宮で六月三日開催された、『お田植え祭』用の早苗取りが、木田の中福良にある御神田で六月二日行われました。

お田植え祭用の苗は、昔から木田地区の八幡田で育てられるならわしになっており、この日は、岩崎カナ子さん（中福良後）と米森初子さん（中福良東）、岩下フサエさん（西ノ原）の三人が、「木田の苗は良か苗じゃっで」と、鹿児島神宮で早乙女・早乙男らが奉納植えする早苗を、昔とった杵柄（？）で、手さばきよろしく束ねていました。

鹿児島神宮のお田植え

ありがとうございました

三人の先生に感謝状

清水先生と別府先生

町内の学校で、加治木町の教育の振興に貢献され、このほど退職された三人の先生がたに六月十四日、その功績をたたえ、町と町教育委員会から感謝状が贈られました。

受賞者は、次のかたがたです。（敬称略）

▽清水芳孝（菱刈町）加治木中学校校長として三年間勤務。

▽仮屋　學（姶良町）竜門小学校校長として二年間勤務。

▽別府富貴子（鹿児島市）錦江小学校教諭として八年間勤務。

ありがとうございました。

加治木トピック

"メーン、コテー、ドー"

剣道一級審査会を開催

西姶良剣連協議会（加治木、姶良、溝辺、蒲生、吉田）は、段位規定の改正に伴い、剣連加治木支部主管（増田昌弘支部長）による第一回一級審査会を六月十日、加治木町営体育館において開催しました。

今回の改正は、中学二年生で、かつ、一級をもっていないと初段位を受けられないというもので、中学一年生まではいくら上手でも初段位は取ることはできません。

審査会では、一〇七人が見事全員昇級。うち、二十二人の女性剣士も、鋭い奇声をあげていました。

剣の道は礼儀から

カメラ・ルポ

野元雅史くんが記念大賞に

鹿児島県小学生硬筆展

第十回記念鹿児島県小学生硬筆展で錦江小学校の野元雅史くん（五年生）が〝第十回記念大賞〟に輝き七月一日、鹿児島市の黎明館で表彰を受けました。

硬筆展には、県内一一九校から二六、八八二点の応募があり野元雅史くんの作品は、その数多い作品の中から厳選された文字通り鹿児島県一の大賞です。

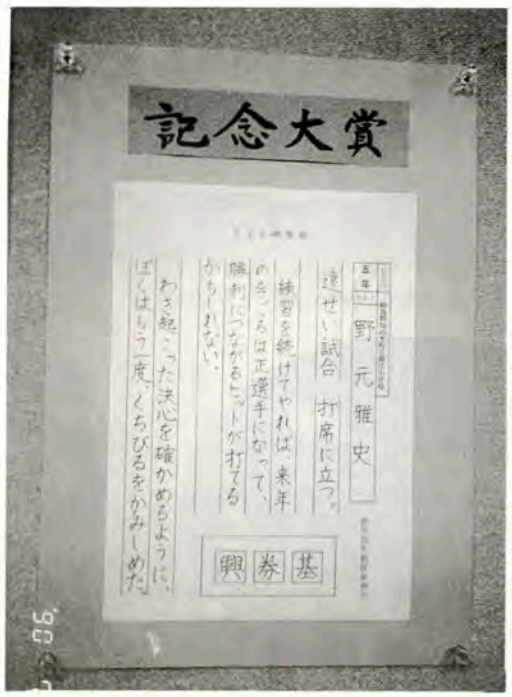
これは、一月のMBC硬筆書写コンクールの準大賞に引き続く栄えある受賞で、「教育と文化を誇る加治木町の面目躍如」と、学校はもちろん教育関係者も喜んでいました。

主な受賞者は次のとおりです。

☆**記念大賞**　野元雅史（錦江小五年）

▽**県知事賞**　山王朋佳（錦江小三年）▽**県教委賞**　新留尚子（錦江小六年）▽**県教育振興会賞**　山本恭子（竜門小二年）▽**学校賞**　錦江小学校

両手に花の野元くん



記念大賞の作品

メンバー全員で

全国大会〝チェストいけ！〟

柁城ソフトボールスポーツ少年団

柁城ソフトボールスポーツ少年団（宮島實監督、団員四十六人）が、県大会で見事優勝し、八月三日から六日まで滋賀県で開催される「全日本小学生男女ソフトボール大会」に出場することになりました。

これは、四月の「全日本小学生選抜ソフトボール、宮崎県大会」に引き続く快挙。高校野球の「春の選抜」・「夏の甲子園」と同じようなもので、宮島實監督以下、団員全員は一丸となって「選抜よりは良い成績を」と練習に励んでいます。

チームは、先の宮崎大会と同様安定して、川田（三番）・樋之口（四番）・北森（五番）のクリーンナップも健在です。

頑張って、全国に加治木町の名をアピールしてください。

〝チェストいけ……！〟

Aクラスはヒローズが優勝

夏季婦人バレーボール大会

町バレーボール協会（神村次郎会長）主催の夏季婦人バレーボール大会が七月一日、町営体育館で開催されました。

この日は、A・Bクラスそれぞれ六チームずつで熱戦が展開され、今回から初参加の実窓寺レディースは健闘むなしく大敗を喫し、他のチームの強さに舌をまいていました。

結果は、次のとおりです。

◎Aクラス▽**優勝**ヒローズ▽二位柁城▽三位加治木スポーツ

◎Bクラス▽**優勝**コアラーズ▽二位カトレア▽三位ハッピーコスモ

熱戦を展開

ボダイジュ

竜門句会

薫風に金髪ゆるる竜安寺　犬童　麗子
竹山の皮脱ぐけはひ夜深む　白尾　澄子
老鶯に選句の広間息抜けり　柳田　稔
とめどなき車や雀の子の智し　中村チヨ子
田を急ぐことも螢の契りかな　脇本　星浪
親衆のわれも苗さす神の田に　古江　重美
枝刈りて招き入れたる初夏の空　高木　正男
講師また薩摩訛よ棕梠の花　川崎　黒兎
万緑に沈む集落昼深し　加藤　白柳
十薬を車庫にも吊りて梅雨に入る　佐々木かすみ
まいまいの来し方光り吾になし　恒吉　斗南
こだわりの遠のく部屋に更衣　鶴田　耕
雨音に郷愁つのる濃紫陽花　神村　洋子
郭公の声に話題をさらわるる　竹山　洋子

句狂　さつま

▼兼題『針』（はい）　榊　牛尾先生　選

天　大かぶ引っ　針や舟ん底け　ひっかかっ　永吉竹林
地　鯔じゃなかかち　ぴっくいしたや　佐藤蔵王嶽
人　庭い肼　唱　針のお陰で　食い続つ　不自由もせんじ　市成早乙女
　　唱　細々ながらも　針や錆つ　針箱なんだ　埃くろた侭

▼兼題『大声』（うごえ）　榊　牛尾先生　選

天　夫婦喧嘩　嫌ん大声い　黙い込つ　今村牡牛
地　ぴっくいすいよな　キャンキャン声で　永吉竹林
人　著拳戦　唱　大声で二ん　拳しゅ出っ　勝てば天下を　取った顔をして
　　唱　店ん前　大声で泣けば　祖母が負けっ　郡山まどか
　　唱　また脭繰ゆば　出さんなならじ

（社会教育学級生の作品を紹介します。）

暮らしのワンポイント

網戸のホコリとり
掃除機を使うのがコツ

風だけは中に入れて、蚊やハエなどは通せんぼ――。夏は網戸が活躍する季節です。

さて、物置などに収納していた網戸を、一年経って引っ張り出すと、網の目にかなりのホコリが目立ちます。

ホコリは、掃除機を使うと簡単にとれますが、網戸に掃除機を直接かけたのでは、網戸を通して空気を吸い込むだけです。網戸の片側に新聞紙を張りつけてから掃除機をかけると、網の目のホコリを上手に吸いとることができます。

スポンジを使うのもひとつの方法。乾いたスポンジを二個用意します。一個で網の裏を押さえ、もう一個で表から網戸をたたくと、押さえていた裏のスポンジにホコリがたたき出された格好でとれます。

ぞうきんで、網戸のホコリをふきとるのはかなりやっかいなことです。特に濡ぞうきんでふくと、汚れはとれずに広がるだけ。強くこすって汚れをとろうとすれば、網がゆるんでしまい見栄えが悪くなりがちです。ぞうきんで、網戸の汚れをふきとるのはやめたいものです。

ところどころに穴のあいた網戸は、網全体を取り替えるしかありませんが、このごろのアルミサッシの網戸は、網の取替が簡単にできます。

網戸の溝の中に、網を止めているヒモがあります。千万通し枚でヒモの端を探し、引き出せば網ははがれます。そうして、網の枠から三センチほど大きめに切った新しい網を、枠の上にのせます。今度はヘラを使い、溝にヒモを押し込みます。はみ出した網をカッターで切れば、ゆるみやしわがなく、きれいに仕上がります。

8月の在宅医

※診療時間は、午前9時～午後5時まで
（原則として）

※当日の往診並びに緊急以外の受診は、御遠慮下さい。

	在宅医	住所	☎
5日	壱岐内科	諏訪町	⑫2222
12日	池田医院	本町	⑫2220
19日	大川医院	錦江町	⑫2032
26日	川畑内科	錦江町	⑬1499

犬や猫は正しく飼いましょう
最近こんな苦情が…

＝「困りますね」＝

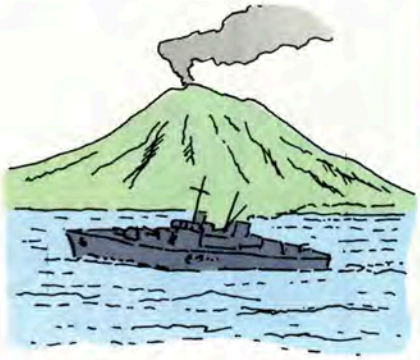
■犬や猫が公園、道路、他人の土地、作物などを汚す、荒らす。
■犬や猫の汚物（ふん尿など）などから悪臭が発生する。
■犬や猫の抜毛が飛んでくる。
■犬のふんを始末しない。
■犬や猫を捨てる。
■犬を放し飼いにする。
■猫が夜泣きする。

このごろ犬や猫を飼う人が増加していますが、飼い方などをめぐってこのような苦情や、御近所とのトラブルが増えています。

犬や猫の飼い主（所有者又は占有者）には、犬や猫の適正な飼養や保管についての責任があり、自覚が求められています。

犬や猫に責任はありません。飼い主がお互いに気をつけるようにしましょう。

海上自衛隊の輸送艇を
8月5日に一般公開



自衛隊に対する認識と理解を深めてもらおうと、自衛隊父兄の会の要請により、海上自衛隊の輸送艇が一般公開（無料）されます。

町民のみなさん、こぞって乗艦して見学してください。

▽日時　8月5日（日曜日）
▽場所　加治木港
▽公開時間（予定）
午前の部　九時から十一時半
午後の部　一時から四時半

水の事故を防ぎましょう

いよいよ水に親しむシーズンがやってきます。しかし、毎年七月八月は、水と親しむ機会が増える分、水の事故も多発しています。

昨年、県内で六十五件の水難事故が発生し、海や川などで四十四人の方が亡くなりました。水遊び中の子供の事故だけでなく、悪天候を押しての無理な釣りによる大人の事故も多数の犠牲者をだしています。みなさん、海や川での遊びは十分注意してお楽しみください。

◇　◇　◇

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円　**鞍掛**　佐藤光一（父　秋男八二）
一万円　**垂ノ口**　古垣良子（母フヂエ八一）
三万円　**西浦西**　隈原ミドリ（母　屋所キミ八三）
五万円　**鶴原**　宮内エミ（夫　武雄八二）
三万円　**西ノ原**　吉村勝子（夫　巌　五六）
二万円　**市来原**　日高トミ（夫　慶一八二）
一万円

萩原　奥村セツ子（夫　操八〇）
三万円　**永原**　福森テツエ（夫秀雄八七）
三万円　**於里**　餅田照子（夫　定治六七）
三万円　**桑迫**　桑迫久子（夫　透　五〇）

＝町老人クラブ連合会へ＝

三万円　**鶴原**　宮内エミ（夫　武雄八二）

＝町育英奨学資金へ＝

一万円　**萩原**　奥村セツ子（夫　操八〇）

▽六月二十日までの御寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

〈記事訂正とおわび〉

六月号の記事中、誤りがありました。深くおわびし、次のとおり訂正いたします。（敬称略）

▽三六ページ「新会長に竹下利行さん」
中　市日野→市比野
▽四六ページ「ありがとう……水道」中
年間の配水量は三千七十八立方メートル→三百七万八千立方トル
加治木町の水の料金は、一ℓ当たり十円三銭→十ℓ当たり一円三銭

うぶ声

出生児　保護者　自治会

鶴　修一　正弘　春日団地
下野真奈美　和幸　反土黒川
濱崎　晃太　祐一　蔵王団地
紺屋　知世　亮爾　原ノ門
吉屋　翔司　克己　向江町
下島　巧也　治文　岩原東
髙畠　春菜　健三　西塩入上
﨑田奈穂美　昌稔　西江口団地
大庭　拓也　昭雄　柳田
時吉真奈美　和幸　里ノ下
原　恵梨菜　治利　日木山団地
永井　淳也　淳一　札立
福元　裕也　正秋　高井田
永野　佑佳　良昭　萩原
松崎　心哉　裕充　豊町
橋口　由那　義和　原ノ門
今薗　奈那　正浩　赤坂
鍬崎　七実　康博　小烏
岩崎　一馬　玄次　岩原西
大久保千裕　哲史　吉原

▽六月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

無料　人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権養護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。

お気軽に御相談下さい。

秘密は、固く守られます。

宮城俊治　反土一五四七
蔵王団地四七―二B―一四
（☎63―3787）
中摩多美子　反土二七五六
（☎62―2768）
竹下利行　木田一四九
（☎63―1818）